



ひとりで悩まないで相談してください。

電話による人権相談窓口

人権問題に関する相談(全般)

- **みんなの人権110番(法務局)**
0570-003-110
- **大阪法務局富田林支局**
0721-23-2432
- **(一財)大阪府人権協会**
06-6581-8634
- **千早赤阪村役場 住民課**
0721-26-7116

障がい者の人権に関する相談

- **障がい者110番**
06-6973-0110

女性の人権に関する相談

- **女性の人権ホットライン(法務局)**
0570-070-810(全般)
- **ドーンセンター(府立男女共同参画・青少年センター)**
06-6937-7800(全般)
- **大阪府女性相談センター**
06-6949-6022(全般)
- **富田林子ども家庭センター**
0721-25-2065(DV)
- **富田林警察署生活安全課**
0721-25-1234(DV)
- **大阪府総合労働事務所**
06-6946-2601(セクハラ)
- **ストーカー110番(大阪府警察)**
06-6937-2110(ストーカー)(24時間)
- **性犯罪被害110番(大阪府警察)**
0120-548-110(性犯罪被害)(24時間)

子どもの人権に関する相談

- **子どもの人権110番(法務局)**
0120-007-110(全般)
- **富田林子ども家庭センター**
0721-25-2263(虐待通告専用)
- **大阪府子ども家庭センター**
072-295-8737(夜間・休日虐待通告専用)
- **子どもの悩み相談フリーダイヤル(子ども専用)**
0120-7285-25(24時間)
- **すこやかホットライン**
06-6607-7361(子ども専用)

外国人の人権に関する相談

- **大阪府外国人情報コーナー**
06-6941-2297(相談・生活情報)
- **外国人のための人権相談所(大阪法務局)**
06-6942-9496

その他の人権に関する相談

- **大阪自殺防止センター**
06-6260-4343
- **大阪府こころの健康総合センター**
06-6607-8814
- **大阪府発達障害者支援センター(アクトおおさか)**
06-6966-1313
- **ハンセン病回復者支援センター**
06-7506-9424
- **犯罪等被害(大阪府被害者支援アドボカシーセンター)**
06-6774-6365

障がいの ある人の人権

全ての人が住みよい社会に向けて

みなさんは障がいのある人が
困っていたらどうしますか？

「声をかける」「見て見ぬふりをする」など
様々な方がいると思いますが、
「どうすればいいのかわからない」という
方も多いのではないのでしょうか



千早赤阪村人権啓発パンフレット

(法務省委託事業)

発行	千早赤阪村 / 千早赤阪村人権協会
住所	〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180番地
電話	0721-26-7116
FAX	0721-72-1880

障がいについて理解しよう

障がいには、様々なものがあります。それぞれの障がいの特性を知ることによって障がいに応じた適切な配慮や支援ができるようになります。

視覚障がい

視力や視野などに障がいがあり、生活に支障を来している状態です。

内部障がい

心臓機能、呼吸器機能、腎臓機能、膀胱・直腸機能、小腸機能、肝機能、HIVによる免疫機能のいずれかの障がいで、外見から分かりにくいという特徴があります。

肢体不自由

上肢（腕や手指、肘関節など）の障がい、下肢（股関節、膝関節など）の障がい、体幹障がい（座位、立位などの姿勢の保持が難しいこと）、脳病変による運動機能障がい（脳性まひ）などがあります。車椅子や杖などを使用する場合もあります。

発達障がい

生まれつき脳の一部の機能に障がいがあるもので、自閉症、アスペルガー症候群、注意欠如・多動性障がい（ADHD）、学習障がい、チック障がい、吃音（症）などが含まれます。

聴覚障がい

全く聞こえない場合や、聞こえにくい場合があります。補聴器や人工内耳を使用するほか、コミュニケーションの手段としては、手話や筆談、口話（相手の口元を見て内容を理解する方法）などがありますが、人によって得意・不得意があります。

知的障がい

概ね18歳までの心身の発達期に現れた知的機能の障がいにより、生活上の適応に困難が生じるもので、意思交換（言葉を理解し、気持ちを表現することなど）や日常的な事柄（お金の計算など）が苦手な場合があります。

精神障がい

統合失調症、気分障がい、てんかん、アルコールや薬物依存症といった精神疾患が原因となります。このように原因となる精神疾患は様々であるため、原因となる精神疾患によってその障がい特性の制限の度合いは異なります。

高次脳機能障がい

交通事故や脳血管障がいなどの病気により、脳にダメージを受けることで認知や行動に生じる障がいで、以下のような特性があります。記憶力・注意力の低下／段取りよく物事を行うことが困難／ささいなことでイライラしてしまい、興奮しやすい など

「心のバリアフリー」を実現しよう

私たち一人ひとりが考え、バリアを取り除いていく上で、もっとも大切なのが「心のバリア」です。障がい・肌の色・性別・文化・国籍などの違いを理解して受け入れる姿勢が大切です。そして、適切な配慮や自然な声掛けを実践していきましょう。

「合理的配慮」は世界のトレンド

障がいのある人にとって住みよい社会は、障がいのない人にとっても住みよい社会です。障がいのある人が困ることをなくしていくために、周りの人や社会などがすべき無理のない配慮のことを「合理的配慮」と呼んでいます。

合理的配慮の提供にあたっては、勝手な判断をすることなく、障がいのある本人の意向を最大限に尊重することが大切です。

まずは声をかけることから始めてみましょう。

合理的配慮の事例

筆談、読み上げ、手話などによるコミュニケーション



車椅子の高さに合わせ机の高さを調整



まずは声をかけ、サポートの必要性を確認



施設出入り口に近い、駐車スペースの確保



絵や写真、タブレット端末を利用したコミュニケーション

